



# 森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 12月園だより

平成28年11月29日  
園長 新井 智子

〒108-0071  
港区白金台  
3-7-1  
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

## 5歳児 劇の小道具づくり



## 4歳児 動物づくり



## 「好き」が「大好き」になるとき

園長 新井 智子

年中4歳児は、毎日少しずつ空き箱の動物づくりをすすめています。動物園の遠足で印象に残った動物を、たくさんの空き箱の中から見合う箱を探し、組み合わせて形をつくり、接着剤やセロハンテープで接着し、アクリル絵の具で着色します。接着剤や下地の絵の具が乾いてから、次の工程にすすむので、時間や日数がかかります。しかし、時間をかけ丁寧に一つのものをつくることで、徐々に愛着が湧いてきます。出来上がると弟妹の誕生のようなとても嬉しそうな表情になります。

年長5歳児は、「わくわく発表会」に向けて本格的な取り組みが始まりました。劇は、題材から話し合い、いくつかの候補から子どもたちが選びました。限られた時間内に、どのように表現していくか、もちろんシナリオなどなく、すべて子どもたちが考え、教師の援助を受けながらつくっていくのです。どの場面を劇に入れていくか、せりふや動きをどうしていくか、役決め、大道具、小道具づくり、裏方の仕事など、決めていくこと、つくるものは山のようにあります。時には、考えの違いに揉めたり、なかなか進まず暗礁に乗り上げたりしながら、一つの劇が出来上がっていくのです。劇や表現遊びは、子どもたちの好きな活動です。けれど、この「好き」という気持ちに「友達と協力してできた!」「大変なこともあったけれど、楽しかった」と、紆余曲折、試行錯誤して到達した思いが加わると、何にも代えられない満足感と達成感が生まれます。そして、仲間のありがたさ、表現の楽しさが倍増され、「劇の本当の面白さ」が実感できます。

動物づくりも劇づくりも時間をかけ、手間をかけ、問題を乗り越えた時、「好き」が「大好き」になるのではないのでしょうか。

年長組の三年間の集大成である「わくわく発表会」。子どもたちの創意や表現がのびやかに形となって披露されることを願っています。



## <今月の指導のねらい>

### 3歳児

- 自分の思いを言葉や動きに表しながら、友達と同じ場で関って遊ぶ。
- 学級の友達と簡単なストーリーを動きにしてみたり楽器でリズムを売ったりし、のびのびと表現することを楽しむ。
- 衣服の調節や使った物の片付けなど、生活に必要なことが分かり、自分で取り組む。

### 4歳児

- 自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 楽器遊びや劇ごっこなどを通して、自分なりに表現することを楽しむ。
- グループでの弁当準備や当番活動など、自分たちの生活に必要なことに気づき、自分から取り組んだり、友達と一緒に取り組んだりする。

### 5歳児

- 発表会に向けて考えを出し合ったり、互いのよさに気付いたりしながら活動を進め、やり遂げた達成感や充実感を味わう。
- 縄跳び、鉄棒等の運動遊びや、投げゴマ、製作など様々な遊びに自分の目標をもって挑戦する。
- お楽しみ会や大掃除などを通して、年の暮れの雰囲気を感じ、新しい年を迎えることに期待をもつ。